

平成28年度行政評価 施策評価シート (平成27年度実績)
 施策名 魅力づくり

施策コード 050202

1. 施策の担当	
主管課	生活産業部 まちの活性課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第5章 活力をうみ、賑わいのあるまちづくり (活力・賑わい)	節 第2節 観光
	施策	魅力づくり	

基本方針
 ・ 近隣自治体と連携し、広域的な観光PRを図り、南泉州地域への誘客に努めます。
 ・ パンフレットやインターネット等を通じて、観光情報を市内外に向けてリアルタイムに発信し、魅力づくりを推進します。

現況と課題
 ・ 関空対岸の自治体 (岸和田市以南の5市3町) 等で構成される「華やいで大阪・南泉州観光キャンペーン推進協議会」で広域的に観光のPR等を行うことで、当圏域への集客が期待されています。
 ・ インターネット、広報誌、さらには主要観光施設との情報のネットワークを通じて、リアルタイムに市内外へ情報を提供し、集客の向上につなげています。
 ・ 観光情報センターを活用し、主要観光施設との情報ネットワークを構築するとともに、本市の観光資源の情報提供に努める必要があります。

施策目標
 対象 (誰を、何を、どこを)

観光客

意図 (どのような状態にしたいのか)
 関西、日本各地、海外からの多くの人々が訪れるよう、泉佐野の特色や魅力を活かしつつ集客力の向上を図り、人々の交流を生み出します。

3. 市民ニーズ							
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
満足度 (偏差値)		35.2					
重要度 (偏差値)		41.4					

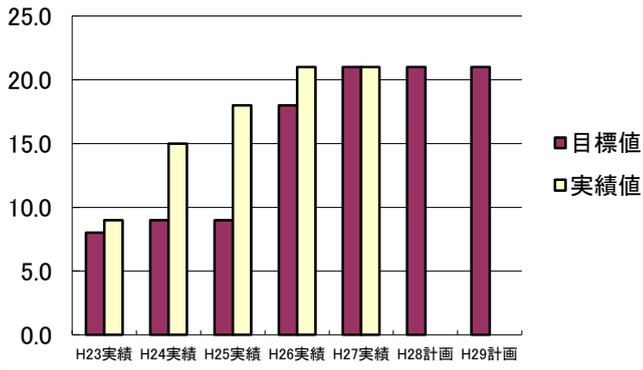
4. 施策にかかるコスト							
コストの内訳	単位	H26決算	H27決算				
	人件費	千円	0	0			
	事業費	千円	0	0			
財源内訳	フルコスト	千円	0	0			
	国庫支出金	千円					
	府支出金	千円					
	市債	千円					
	その他	千円					
	一般財源1 (=フルコスト-特定財源)	千円	0	0			
	一般財源2 (=直接事業費-特定財源)	千円	0	0			

5. 施策の成果指標							
① 成果指標1 情報発信のメニューの多様化							
項目	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画	H29計画
目標値	8.0	9.0	9.0	18.0	21.0	21.0	21.0
実績値	9.0	15.0	18.0	21.0	21.0		
達成度	112.5	166.67	200.0	116.67	100.0		

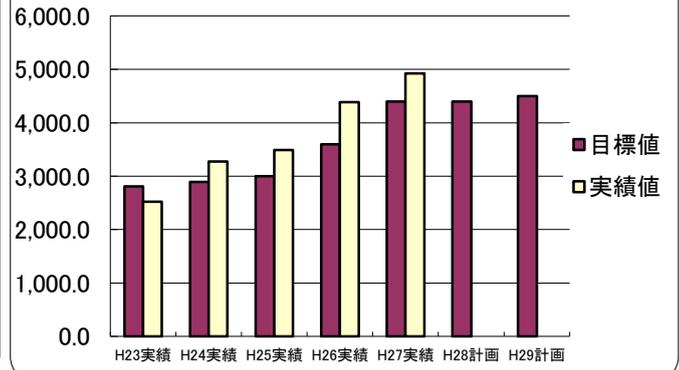
指標設定の根拠	目指そう値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
情報発信のメニューの数より、どれだけ人の目に市の情報発信に触れる機会が多いかがわかります。	5年後は現在考えられる媒体で新たな取り組みができるものを目標として設定しました。また近年、アジア圏内からの来訪者が増えつつあることから、多言語化に取り組むことも目標設定しています。また、この10年間で日進月歩である情報媒体を活用し、利用媒体数を増やすことにより、様々な人の目に触れる機会を創出する為目標を設定しています。	ホームページ(日本語・英語・ハングル・簡体字・繁体字)、広報、イベント情報チラシ(春・夏・秋)、観光ガイドブック(日本語・ハングル文字)、5市3町パンフレット、泉佐野市観光プロモーションビデオ、街歩きMAP(英語・韓国語・簡体字・繁体字)、指差し会話集、泉佐野市宿泊施設ガイド、9市4町ガイドブック、観光名刺(種類の増)・泉佐野じゃらん・フェイスブック

② 成果指標 2		観光情報センター年間利用者数					
項目	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画	H29計画
目標値	2,807.0	2,891.0	3,000.0	3,600.0	4,400.0	4,400.0	4,500.0
実績値	2,520.0	3,278.0	3,493.0	4,386.0	4,926.0		
達成度	89.78	113.39	116.43	121.83	111.95		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
<p>情報発信媒体が多様化する中、人のぬくもりを感じる観光案内を行っています。事前に当市の情報を取得されていない方々が、手軽に目的を達成できる手段であるため。</p>		<p>泉佐野にお越しいただく方々を温かくお迎え・ご案内できる施設として、平成21年4月にOPENしました。今後もきめ細やかなサービスを提供できるよう、10人/日を目標に設定しましたが、H26以降は、H24・25の実績を踏まえ、最終目標を達成するための目標値として設定。</p>		<p>利用者数には電話問い合わせ件数も含む。観光情報センターに関し一定の認知がされてきたと考えられる。</p>			
③ 成果指標 3		観光交流プラザ「りんくう まち処」年間利用者数					
項目	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画	H29計画
目標値		7,557.0	21,900.0	25,000.0	51,000.0	51,000.0	52,000.0
実績値		7,557.0	23,292.0	50,659.0	66,435.0		
達成度		100.0	106.36	202.64	130.26		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
<p>観光交流プラザ「りんくう まち処」は、泉佐野市の観光情報発信及び特産品の販売など観光案内所として平成24年12月にオープンしました。当施設において観光施設の案内や本市の特産物を使用した商品の展示・販売などを通じて、国内外の旅行者に対して観光案内やイベントのPR等の情報発信を行っている。</p>		<p>外国人旅行者をはじめとする国内外の来所者数を、60人/日を目標に設定しました。また、現状の数値から利用者数が月単位で30人増を目標に設定しましたが、H26以降はH25の実績を踏まえ、最終目標を達成するための目標値として設定。</p>		<p>今年度に関しては、利用者数は月平均で3～4千人前後で推移しており、一定の認知がされてきたと考えられる。</p>			
④ 成果指標 4		観光情報プラザ「関空 まち処」年間利用者数					
項目	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画	H29計画
目標値			18,239.0	36,000.0	65,000.0	70,000.0	71,000.0
実績値			18,239.0	55,827.0	64,270.0		
達成度			100.0	155.08	98.88		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
<p>観光情報プラザ「関空 まち処」は、泉佐野市の観光情報発信及び特産品の販売など観光案内所として平成25年10月にオープンしました。当施設において観光施設の案内や本市の特産物を使用した商品の展示・販売などを通じて、国内外の旅行者に対して観光案内やイベントのPR等の情報発信を行っている。</p>		<p>外国人旅行者をはじめとする国内外の来所者数を、100人/日を目標に設定しました。また、現状の数値から利用者数が月単位で50人増を目標に設定しましたが、H26以降は最終目標を達成するための目標値として設定。</p>		<p>今年度に関しては、利用者数は月平均で4～5千人前後で推移しており、一定の認知がされてきたと考えられる。</p>			
⑤ 成果指標 5		観光交流プラザ「りんくう まち処」・観光情報プラザ「関空 まち処」売上額					
項目	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画	H29計画
目標値				4,227,460.0	4,500,000.0	49,000,000.0	49,000,000.0
実績値				4,227,460.0	49,919,020.0		
達成度				100.0	1,109.31		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
<p>両施設において本市の特産品の展示・販売や手荷物預かり等を行うことにより、本市を訪れる国内外の旅行者に対し、本市のPRや本市にある観光施設等を訪問しやすい環境づくりを行っている。</p>		<p>初年度の実績から最終目標を達成するための目標値として設定。</p>		<p>両まち処の利用者数の増加に伴い、本市の特産品の販売をはじめ、手荷物預かり等の利用者等も増加傾向にあると考えられる。(売上額内訳：りんくう まち処13,095,490円、関空 まち処36,823,530円)</p>			

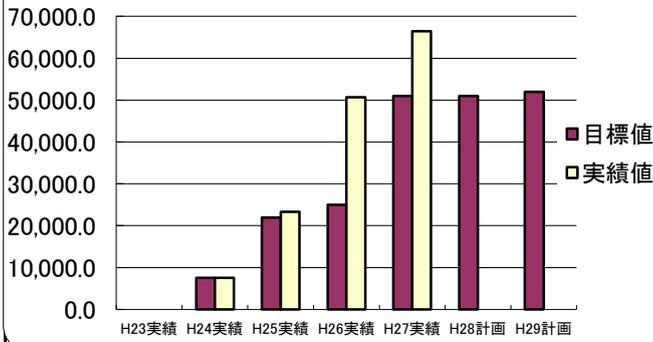
成果指標①



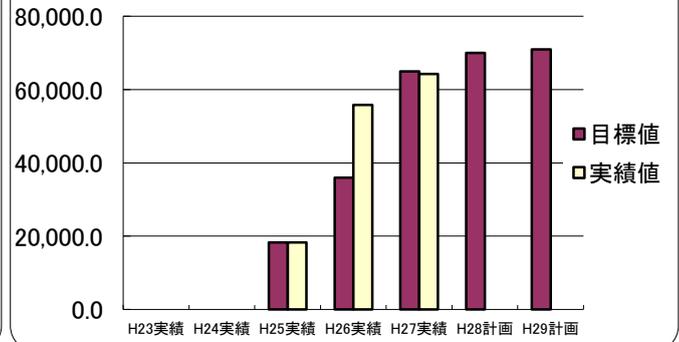
成果指標②



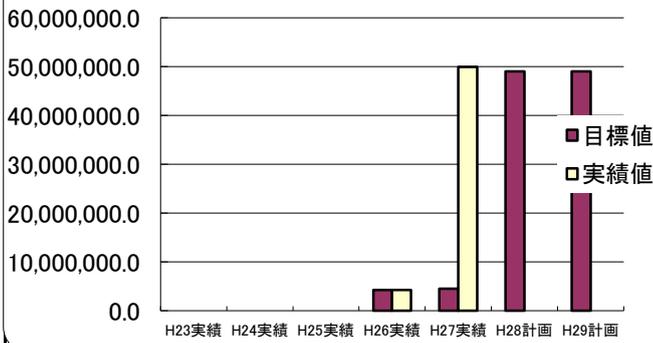
成果指標③



成果指標④



成果指標⑤



6. 施策の事後評価			
一次評価 (担当課による評価)	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 4	泉州地域で多言語対応の観光パンフレット作成している自治体は無い。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 1	ホームページ利用者からの電話問い合わせは少なく、年配の方からのパンフレット送付依頼が依然として多い。 平成24年市民アンケート調査の満足度(偏差値)は、35.2となり、平成19年調査に比べ低下した。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 3	訪日外国人旅行者が増加傾向にあることから、外国人旅行者向けの飲食店情報が入った街歩きMAP(4ヶ国語対応)の作成、加えてスマートフォン等の情報発信を実施した。
	合計点	(10点中) 8点	
	総合評価	B	東京オリンピック開催を控えて今後益々増加するであろう訪日外国人旅行者が、今まで以上に当市に訪れやすい環境の整備を今後も図っていく必要があると考えられる。
二次評価(政策推進課・行財政管理課による評価)		B	成果指標の見直しを検討すること。
三次評価(理事者による評価)		B	成果指標の見直しを検討すること。

7. 施策を構成する事務事業							
事務事業			H27年度決算額			H28年度予算	一次評価
予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源			
1	01037300	観光振興事業				-	B
合計			0	0	0	0	